



おしゃべりかわらばん



みんなでポン・カン・ロン

60歳以上のかたを対象に、「賭けない、飲まない、吸わない」が原則の麻雀広場を開いています。麻雀は指先と頭を使うので、ボケ防止にも役立ちます。これからも、高齢者がみんなで楽しめる場所を提供していきたいです。

生き生き健康麻雀広場・緑風会代表の小森浩さん

仲良く遊びに来ます!

4月12日に桜児童センターの開館式がありました。2年2組はみんなで、喜びのことばとダンスをしました。みんなといっしょだったから、あんまり緊張しなかったよ。放課後、友だちや弟と遊びに来ます。仲良く使います!



桜小学校2年2組の安田莉乃さん、深谷天馬くん



秋田万歳の呼吸は難しい

親せきが舞っているのを見て、興味を持ちました。烏帽子をかぶったり、扇子を振りかざしたりして楽しく学ぶことができました。舞いながら歌うときの呼吸の取り方は難しいですね。今度は鼓もたたいてみたいです。

秋田万歳入門に参加した堀井和子さん、平川金一さん

ウォーキングで気分爽快!

ウォーキングを習うのは今日が初めてです。足腰を鍛えて、骨粗鬆症の予防にもなるから、健康第一がモットーの私にとっていい運動です。こんなに気分爽快になれるから、本格的にウォーキングを始めようかな。



ウォーキング教室に参加した安岡志保子さん(高陽青柳町)



救急車到着まで手当

自宅近くから、大きな悲鳴。かけつけると、道路から転落した人が、冷えきった体で動きできずにいたので、救急車が来るまで毛布を掛けて励まし続けました。負傷したかたが元気になったことを聞いて、うれしく思います。

道路から転落した人を助け表彰された本川浩さん(飯島)



生き生き健康麻雀広場は、毎週火・木・土、午前9時30分～午後4時30分に開催しています。問い合わせは大町の「まあじゃんくらぶ・ひまわり」☎(883)0606

娘は初めての選挙を心待ちにしています。当日は家族そろって投票に行きます。沢田けい子 50歳・土崎(なんでも、秋田は全国的に見ても運動する時間が少ないのだとか。新しいことを始める春です。ね金妙子 53歳・將軍野)庭を見て新芽が出たチューリップやスイセンに向かって、きれいに咲いてネ、と声をかけながらの庭いじりの毎日です。土谷猛 67歳・飯島)ようやく春になり小さい畑を耕すのが楽しみにしています(安藤徳悦 76歳・牛島)

係からひとこと やわらかい春風の吹く気持ちのいい季節になりました。読者の伝言板にもたくさん春の便りが届いています。二月に自宅の屋根の雪下ろしをし、あやまって滑り落ち、大けがをしたことが遠く思えてきます。四月から新しく「広報あきた」編集の担当になりました。締切りに追われていますが、読者のみなさんからのあたたかいお便りが励みになっています。異動、引っ越し、結婚と、この春は私にとって激動の季節となりましたが、気持ち新たに、みなさまへ心こもった広報紙を作れるよう、日々是好日の志で過ごしていきます。取材でうかがった際は、どうぞ気軽に声をおかけください。(加藤)

広報クイズ



秋田万歳入門で

3月28日号の当選者

前回のクイズの答えは、問1が「27」日、問2が約「2.5」キロメートルでした。

全問正解225通(応募総数238通)の中から、相沢ミサ子さん(土崎港南三丁目)、鎌田勝男さん(保戸野八丁)、北島昭さん(土崎港西五丁目)、北村益子さん(將軍野東三丁目)、澤田石金一郎さん(大町一丁目)、藤井美紀さん(桜ガ丘二丁目)、保坂孝紀さん(仁井田本町二丁目)、三浦花子さん(牛島東四丁目)、村上米子さん(飯島緑丘町)、横山久仁子さん(牛島南二丁目)の10人のかたに図書券をお送りします。

4月の広報クイズは最終面です。よろしく!!

広報クイズの当選者は、毎回、市政記者室の記者のかたに厳正に抽選してもらっています(広報課)

読者のみなさんのページです。最終面に掲載している広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとことを、お待ちしております。

井戸端 市民通信

月刊

読者の伝言板

敬称略

平成十九年度に秋田中央道路が開通し、秋田の町が変わる日を楽しみにしています(伊藤則子 48歳・上北手) 秋田中央道路で交通渋滞緩和は期待できますが、広小路の開散としている様子はさみしい(高橋怜子 62歳・外旭川) 広報の私のお気に入り入りは「あきたノスタルジー」。昭和五十三年の駅前、なつかしさと同時に発展ぶりに驚きです(地主京子 75歳・御野場) あきたノスタルジーを見ていたら、以前勤めていた会社の看板を見つけ、とても懐かしかったです(須田恵子 53歳・横森) 昨年二月に主人の仕事の関係で秋田へ越してきて一年が経ちました。知り合いもななく知らない土地での生活は不安だらけでしたが、広報で講座案内を見て積極的に参加もしました。今では友だちもでき、楽しい秋田での生活を送っています(関千鶴子 29歳・外旭川) 駐車場も広くなり、年々交通の便が良くなってきた大森山動物園。今年は年間パスポートを購入したので、子どもと二人せつせと通いますよ!(富岡公見子 46歳・下浜) 長寿のお祝いの品をいただきました。この年までいるいるボランティアで頑張りました。おかげさまで多くのかたがたと知り合い、そして声をかけることの大切さを学びました。そして、地域、町内の文化や伝統を育て守っていきたいと思っています(渡辺テール 80歳・土崎) 四月に入り天候に恵まれ暖かい日が続く、桜の咲くのが待ち遠しいなかに、統一地方選挙第一段の県議会議員の選挙が告示された。候補者のマイクが、遠く近くに聞こえてくる。花に浮かれることなく、貴重な一票をみなさんと共に投票することを心に決めていく。このあと市議会議員の選挙も控えており、忘れずに投票しましょう(三浦忠雄 74歳・千秋)

地域のお話 おしえて!!

活魚・鮮魚直売センターがパワーアップ 食べてけれ! 新鮮で安全な地元の魚

4月5日、セリオンの近くにある「秋田県漁協活魚・鮮魚直売センター」が、模様替えをしてオープンしました。運営が市漁協から県漁協に変わり、八森、北浦、船川、金浦など全県の浜から集まった旬の魚がズラリと並びます。この日は開店前から約100人もの人が詰めかけ、開店時間を15分繰り上げてのオープンとなりました。人気は生タコ、ヒラメ、カレイなど。

その場で気軽に魚をおろしてもらえると好評です。「夕方に港で仕入れて翌朝に店頭並べるので、鮮度はバツグン。30種類以上の魚が並ぶので、県内でどんな魚が取れるか、見るのも楽しいですよ。これからの季節はおいしいタイやイカが入ってきます。お楽しみに」と秋田県漁業協同組合の伊藤俊悦さん。今晚の食卓に地元のピチピチの魚はいかが?



直売センターは、午前10時から午後6時まで営業。水曜日が定休日です。秋田県漁協活魚・鮮魚直売センター ☎(847)2680